

## 病院の概要

- 病床数 311床
- 医師数（研修医を除く） 38名（うち指導医数 8名）
- 研修医数 1年目 0名 2年目 1名
- 研修医の主な出身大学 弘前大学・筑波大学・高知大学・熊本大学・琉球大学など
- 診療科 内科 消化器科 循環器内科 外科 小児科 整形外科  
脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 放射線科 産婦人科 眼科  
リハビリテーション科 耳鼻咽喉科 麻酔科 歯科口腔外科  
病理科 和漢診療科 救急総合診療科
- 1日平均外来患者数 570.4名 ● 1日平均入院患者数 233.4名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本外科学会外科専門医修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院



## 研修プログラムの特色

当プログラムは総合的な臨床能力を有する医師の育成を目指すもので、厚生労働省による初期臨床研修到達目標を理想とし、救急医療とプライマリ・ケアを基盤とした総合診療方式（スーパーローテーション方式）による、2年間の初期臨床研修プログラムです。

臨床医としての哲学を形成していくことを目的にしており、狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的な知識・考え方・手技を身につけることに重点を置き、さらに患者および他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを取れるようになることも目指しています。

また、画一的なものではなく個人の希望や特性に応じて柔軟に対応する為、オプションの研修科・期間を多めにとっています。



## プログラム 例 羽生総合病院臨床研修プログラム（募集定員4人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	内 科			救 急			外 科	小児科	産婦人科	内 科		
2年目▶	地域医療		精神科	希望選択								

※内科（6か月）、救急（3か月）、地域医療（2か月）、外科（1か月）、産婦人科（1か月）、小児科（1か月）、精神科（1か月）必修

※希望選択9か月（内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、病理科、緩和ケア、家庭医療）

## 研修医の処遇

- 給与▶約45万円／月
- 諸手当▶通勤手当、住宅手当、家族手当等
- 保険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶8時30分～17時
- 当直▶あり（8回程度／月）
- 休暇▶2回／週、有給休暇（10日／年）
- 宿舎▶近距離の賃貸物件を紹介
- その他▶学会参加、資格取得補助制度有り

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉県済生会鴻巣病院
- ・徳洲会グループ各病院

## 当院のキーワード

### ●平成30年5月 新築移転予定！！

当院は平成30年5月に現在の病院から程近い場所へ新築移転を行う予定であり、現在建設を進めております。

#### ◆新病院の基本コンセプトについて◆

- ①羽生市内及び近接地域の医療ニーズへの適切な対応（救命救急センターの設置）
- ②がん診療拠点病院を目指す（放射線治療装置の導入、緩和ケア病棟の設置）
- ③災害拠点病院を目指す（非常用電源の確保・井水の利用・ヘリポートの設置等）
- ④早期発見早期治療につなげる体制を構築（健診センターの強化・透析部門、リハビリテーション部門の拡充）
- ⑤療養環境を向上させ、病院全体を癒しの空間とする
- ⑥医療の進歩や地域医療のニーズに合わせ増築・改築が容易な建物とする



平成30年5月開院（予定）  
羽生総合病院は新しく生まれ変わります。

## 研修責任者から

「医師の仕事とは何か。」つきつめて言えば“目の前にいる患者を評価し、マネジメントすること”であり、これが全てです。これができるようになる為に必要とされる、医師にとっての職業訓練の第一歩となるべきもの、それが初期研修であると考えています。



研修委員長  
木田 吉俊

そして医師としての最初の時期に論理的・科学的な考え方を習得する必要があり、自分の力で個々の患者が抱える問題点を一つひとつ列挙し、それぞれの問題点をなるべく根拠に基づきつつ解決する訓練を行わなければなりません。必要な知識や基本手技を身につけることだけでなく、その問題解決のサイクルを繰り返し、応用のきく方法論として体で覚えておけば、たとえこれまでに経験したことがない疾患、病態であったとしても恐れることはありません。研修医の皆さんには、このことを意識しつつ研修に励んでほしいと思います。

## 先輩研修医から

学生時代から大人数のベルトコンベヤー式の研修よりは少人数の柔軟かつ質的に十分な研修を望んでいたもので、その点で当院は魅力的な環境でした。初期研修医として最も実力が付く場は当直業務に於いてです。当直は月8～9回と体力的には大変でしたが、意外に出来るものです。



後期研修医  
成松 裕之

当院の当直の特徴として、2年間通じて内科系・外科系の救急外来及び救急車の1stを全て一人の研修医が行います。とは言っても必ず後ろには経験豊富な救急専門医の上級医がついているので、いつでも相談でき安心です。2年間の当直業務で2,000件近い症例を経験でき、質量ともに満足できる研修が出来ます。

ぜひそんな当院で、医師の第一歩を踏み出してみませんか。

## 女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇は勿論のこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また院内保育所の利用も可能（病児保育も可）ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、ぜひ一度ご連絡下さい。

連絡先

## 羽生総合病院

総務課 臨床研修事務担当

〒348-8505 羽生市上岩瀬551

TEL 048-562-3000(代表) FAX 048-563-2170

E-mail resident@fureaihosp.or.jp

URL http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/

アクセス 東武伊勢崎線・秩父鉄道 羽生駅から徒歩8分

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。（交通費・宿泊費は当院負担にて相談可）

まずは担当までお気軽に電話またはメールにてお問い合わせください。